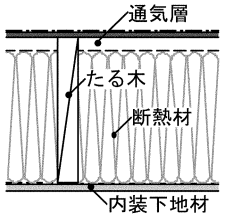
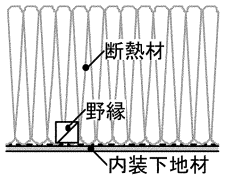
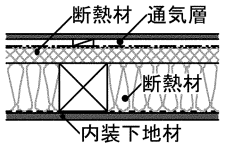
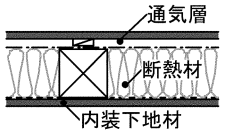
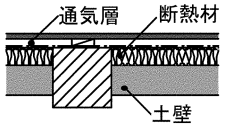
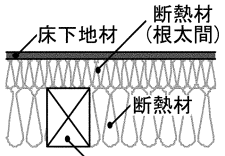
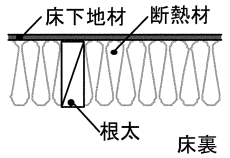
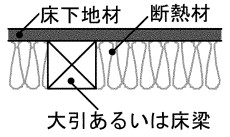
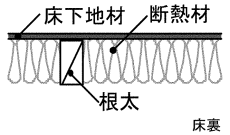
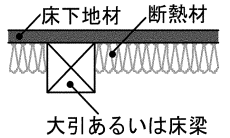
別表第３

木造の単位住戸　充填断熱工法の仕様例

部位	熱貫流率（単位１平方メートル１度につきワット）	仕様の詳細	断面構成図
屋根	0.17	たるきの間にＲが7.5以上の断熱材（厚さ265ミリメートル以上）を充填し、かつ、Ｒが0.043以上の内装下地材を用いた断熱構造とする場合	
	0.24	たるきの間にＲが5.2以上の断熱材（厚さ185ミリメートル以上）を充填し、かつ、Ｒが0.043以上の内装下地材を用いた断熱構造とする場合	
天井	0.17	内装下地材の上面にＲが5.7以上の断熱材を敷き込み、かつ、Ｒが0.043以上の内装下地材を用いた断熱構造とする場合	
	0.24	内装下地材の上面にＲが4.0以上の断熱材を敷き込み、かつ、Ｒが0.043以上の内装下地材を用いた断熱構造とする場合	
外壁	0.35	軸組の外側にＲが1.3以上の断熱材（厚さ25ミリメートル以上）を張り付け、かつ、軸組の間にＲが2.2以上の断熱材（厚さ100ミリメートル以上）を充填した断熱構造とする場合	
	0.53	軸組の間にＲが2.2以上の断熱材（厚さ85ミリメートル以上）を充填した断熱構造とする場合	
	0.92	土壁（厚さ50ミリメートル以上）の外側で軸組の間にＲが0.9以上の断熱材（厚さ20ミリメートル以上）を充填した断熱構造とする場合	
	0.24	床裏が外気に接する場合であって、根太の間及び大引又は床梁の間に合計してＲが5.2以上の断熱材を充填し、かつ、Ｒが0.075以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合	
床	0.34	次のイ又はロのいずれかに該当する場合 イ　床裏が外気に接する場合であって、根太の間にＲが3.9以上の断熱材（厚さ135ミリメートル以上）を充填し、かつ、Ｒが0.075以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合 ロ　床裏が外気に接しない場合であって、根太の間にＲが3.7以上の断熱材（厚さ130ミリメートル以上）を充填し、かつ、Ｒが0.075以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合	
		次のイ又はロのいずれかに該当する場合 イ　床裏が外気に接する場合であって、大引又は床梁の間にＲが3.4以上の断熱材（厚さ120ミリメートル以上）を充填し、かつ、Ｒが0.15以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合 ロ　床裏が外気に接しない場合であって、大引又は床梁の間にＲが3.3以上の断熱材（厚さ120ミリメートル以上）を充填し、かつ、Ｒが0.15以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合	
		次のイ又はロのいずれかに該当する場合 イ　床裏が外気に接する場合であって、大引又は床梁の間にＲが4.0以上の断熱材（厚さ90ミリメートル以上）を充填し、かつ、Ｒが0.15以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合 ロ　床裏が外気に接しない場合であって、大引又は床梁の間にＲが3.7以上の断熱材（厚さ85ミリメートル以上）を充填し、かつ、Ｒが0.15以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合	
	0.48	床裏が外気に接しない場合であって、根太の間にＲが2.4以上の断熱材（厚さ85ミリメートル以上）を充填し、かつ、Ｒが0.075以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合	
		床裏が外気に接しない場合であって、大引又は床梁の間にＲが2.2以上の断熱材（厚さ75ミリメートル以上）を充填し、かつ、Ｒが0.15以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合	
		床裏が外気に接しない場合であって、大引又は床梁の間にＲが2.4以上の断熱材（厚さ55ミリメートル以上）を充填し、かつ、Ｒが0.15以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合	